

令和元年度第2回平塚市障がい福祉施策推進懇話会 議事録

1 日時・場所

日 時:令和元年12月20日(金曜日) 14:30~16:00

場 所:平塚市役所本館2階218会議室

2 出席者

参加者:橋本勢作(平塚市民生委員児童委員協議会常任理事)、彦根倫子(神奈川県平塚保健福祉事務所保健福祉部長)、出縄守英(社会福祉法人進和学園理事長)、竹内順子(平塚市肢体不自由児者父母の会会長)、雨宮恵子(平塚地区自閉症児者親の会代表)、松山典子(特定非営利活動法人ひのき会理事長)、安池雅彦(NPO法人フレッシュベルカンパニー管理者)、市川祥枝(株式会社アクアテックアクア・ケアサービス平塚管理者)

欠席者:平沼倫枝(神奈川県立平塚養護学校教諭)、村田剛(ほっとステーション平塚施設長)

事務局:障がい福祉課 武井課長、杉崎課長代理、長谷部主査、矢守主査

こども家庭課 仁和担当長

傍聴者:なし

3 議題

【事務局説明】

- (1)「平塚市障がい者福祉計画(第4期)」(素案)について
- (2)「平塚市障がい者福祉計画(第4期)」(素案)の愛称募集について
- (3)その他

【意見交換・質疑応答】

参加者からの主な意見等は次のとおりです。

- ・愛称募集の周知方法は何か。
- ・第4期計画に関する愛称ということで良いか。
- ・障害者自立支援協議会でも愛称を募集していると思うが、どちらも広く周知認識してもらうということから愛称を募集するのか。
- ・障がい者福祉計画となっているが、児童も含んでいるため、障がい児者福祉計画としなくて良いか。計画では育むが目標になっているため、児を入れて分かり易くしたほうが良いのではないか。
- ・成果指標が101あるが、この項目だけで目標の事業が達成できたか判断できるのか。
- ・共生社会とか障がいのあるなしについてももう少し踏み込んでほしい。津久井の事件が忘れ去られているという記事もあり、みんなに自分のこととして考えてほしいが、実際は関係者だけの話と考えられている。障がいというものは当たり前のものとして、自分のことと考えてもらえる表現をしてほしい。
- ・災害について、目標にもう少し具体的な案を入れてほしい。例えば、モデル地区を作りハンディキャップのある人が防災訓練に参加して、どうだったかというようなことをしてほしい。第三者を交えて防災を行えば良いと

思う。

- ・福祉的なイベントは当事者は参加するが、一般の方はあまり参加しないことがある。キャッチコピーを設けて一般の方も興味を持つようなことをしたほうが良いのではないか。
- ・優先調達について、どういうものを優先調達で購入しているのか。どのようなものが受注されているのか。
- ・目標について回数等で具体的に表記されている。全体的に同じ様には書けないか。
- ・ワークステーションについて、無期限で雇用するようにできないか。夢のタネで研修をして慣れてから各課に配置するというようにしたら良いと思う。
- ・一般就労と障がい者枠で、雇用した後の継続就労ができていないか、見守りや支援がどのくらいできているか調査ができていないのか。そういう支援を強化してほしい、そうしないと雇用の促進にならない。
- ・計画の愛称を募集するにあたり計画の内容が分からないと思う。現場でも内容を知る機会が少ない。この周知期間で意見が集まってくるかが疑問。
- ・いろいろな研修という項目があるが、虐待や権利擁護、障がい特性の知識の研修が多い気がする。「接遇」に関する研修をもっと増やしたほうが良い。「共生」という言葉があるが健常者と当事者では感じ方が違うので、丁寧に大切に言葉を交わすことで尊重されていると感じるのではないか。障がい者の方に対する話し方が子供に対する話し方になっていることもあるので、接遇をしっかりと学ぶことが大事である。
- ・重点目標が認め合うという一番大事なことのためもう少し具体的な内容を書いてほしい。目標も内容が合っているようにしてほしい。
- ・子どもの医療、日常生活のサポートがどのくらいとられているのか。親への心理的サポートについてもどのくらいとられているのか。支援の輪をどのくらい広げられるのかが気がかり。
- ・計画の基本理念で、障がいのあるひととないひとと表記しているのが違和感があるため、すべての人という言葉の方にしてほしい。
- ・特有の性質や性格である「個性」という表現が気になる。特有の性質や性格は個性ではないのではないか。
- ・認め合うに社会の人がという言葉を入れてほしい。
- ・心のバリアフリーとオリンピック・パラリンピックは分けたほうが良いのではないか。
- ・一般企業の中に出向いて行って講習会を行ったりしているのか。企業の中に車いすの操作や手話等の研修を行う機会があっても良いと思う。オリンピック前だとそういうことに関心を持ってもらえているので良い機会だと思う。
- ・ウェブに慣れていない人もいますので、ウェブだけでなく色々な情報を冊子で簡単に目に留まるようにしたほうが良い。

事務局から、本日頂いた御意見を取りまとめ、次回の会議で御意見をいただく旨を説明し会議は終了した。

以上